

平成 28 年度日本小児腎不全学会評議員会議事録

日時：平成 28 年 10 月 27 日（木）12：40～13：30

場所：岐阜県岐阜市 長良川国際会議場 2 階第 5 会議室

出席者（敬称略）：芦田明、飯島一誠、上村治、大田敏之、香美祥二、賀本敏行、白髪宏司、杉谷篤、高橋昌里、力石辰也、長谷川昭、服部元史、本田雅敬、森田研、吉村了勇、渡井至彦、和田尚弘（以上 17 名、欠席 10 名のうち委任状 9 名）、三浦健一郎（オブザーバー）

第 38 回日本小児腎不全学会渡井至彦会長の挨拶につづき、以下のように各議題が討議された。

議題

(1) オブザーバーの承認

東京女子医科大学腎臓小児科の三浦健一郎が、今後、オブザーバーとして参加することが承認された。

(2) 会計報告・予算案

平成 27 年度の会計報告ならびに平成 28 年度の予算案が事務局より報告された。会計報告が適正なことが監事である相川厚評議員、伊丹儀友議員の書面によって報告され、平成 27 年度の会計報告と平成 28 年度の予算案が了承された。

(3) 会員動向

平成 28 年 3 月 31 日現在の会員数は、正会員 559 名、名誉会長 2 名、名誉会員 17 名であると事務局より報告された。会員数は少しずつ増加しているが、筆頭演者は会員である必要性を周知徹底させることが確認された。

(4) 編集委員会報告

2015 年（第 35 巻）から「論文自主投稿・査読あり」の編集方針となったが、2016 年（第 36 巻）も無事に発刊されたこと、編集委員として神戸大学大学院保健学研究科看護学領域家族看護学分野講師の本田順子先生に就任していただいたことが服部元史編集委員長より報告された。看護師やメディカルスタッフの論文数を増やす対策について議論された。

(5) 次々期会長の選定

第 40 回会長（平成 30 年度）に賀本敏行評議員（宮崎大学泌尿器科学分野）が推薦され、了承された。

(6) 収支状況（広告収入と学会雑誌作成費用の件）

査読制度の導入により、会費収入と論文掲載料が増えたこと、一方、学会雑誌作成には費用がかかることが報告された。引き続き広告収入の確保と会費徴収（筆頭著者と代表著者は会員であることが必要）に一層努力する旨が、事務局より報告された。

(7) 優秀演題の件

平成 24 年から始まった優秀演題賞への応募演題数が増加していることから、今回から、開催会長が選出したプログラム委員による事前の選抜が行われたことが渡井至彦会長より報告された。

(8) その他

学会開催への初期費用としての援助金を増やす提案がされた。服部元史事務局長より、腎移植レジストリーにかかる負担が相当額見込まれていることが説明され、今後の検討事項とされた。

看護師やメディカルスタッフの参加が減っているのではないかとの指摘があり、精査の必要性、もし減少しているのであれば、その方策を検討する必要性が議論された。

(9) 次期会長の挨拶

第 39 回会長の香美祥二先生より準備状況が報告された。

平成 29 年 9 月 21 日（木）～9 月 22 日（金）、淡路夢舞台国際会議場（淡路島）

日本小児腎不全学会事務局
議事録作成 服部元史
議事録署名 渡井至彦
香美祥二

